学校番号	３０１８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「精選　現代の国語」改訂版（三省堂）						
副教材等	常用漢字ダブルクリア五訂版（尚文出版） 精選　現代の国語　改訂版　学習課題ノート（三省堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の評論文やエッセイを読むことによって、基礎的な日本語の力をつけるとともに、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を育てましょう。現代社会を扱った作品を読み、その世界に触れながら日本語の語彙を増やし、日本語の表現法を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

現代に生きるための日本語力を醸成する。
1　評論文を論理的に理解し、そのテーマにそって自ら思考する力を養う。
2　説明的作品を読解するなかで、日本語の語彙を豊かにする。
3　表現力、創造力を高め、社会性、国際性を育み、現代に生きる力を培う。
4　生涯にわたり読書に親しむ習慣を身に付ける。
5　言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	現代の日本語において「話すこと、聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わることができ、言葉が持つ価値への認識を深めようとするとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	読書の効用について理解する ［教材］ ぐうぜん、うたがう、読書のススメ	a：筆者にとっての「読書の原体験」や読書に対する考え方を理解する。 b[読]：筆者の読書に対する考え方はどういうものか読み取り、実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 c：読書によって新しい発見をした体験を発表し、話し合う。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート テキスト音読
	対比表現から特徴を読み取る ［教材］ 水の東西	a：「庭」について理解しようとしている。 b[読]：文章の構成や展開から主題を読解しようとしている。 c：対比の論述方法を学ぼうとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート テキスト音読
	自らの意見を伝える ［教材］ 命は誰のものなのか	a：意見を述べる話題について理解しようとしている。 b[書]：主題の伝わる意見文を書こうとしている。 c：意見を述べることの大切さを学ぼうとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート テキスト音読
2	人間や社会について考えを深める ［教材］ 贈り物と商品の違い	a：文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b：文章の構成や展開から主題を読解しようとしている。 c[話/聞]：モノのやりとり（交換や贈与）から生まれた他者との「コミュニケーション」にはどのようなものがあるか、身近な例を取りあげ、発表し合う。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート テキスト音読
	言葉の働きを学ぶ ［教材］ ものとことば	a： 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している b[読] 「もの」と「ことば」の関係を的確に理解したうえで、異なる言語に見られる「認識される対象」の違いについて考察できている。 c：日本語と他言語の単語を比較し、認識される対象にどのような違いがあるか調べる。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート テキスト音読
3	要約は何が大切かを学ぶ ［教材］ 要約する	a：要約文の役割を学ぼうとしている。 b[書]：わかりやすい要約文を書こうとしている。 c：要約文の自己評価ができるようになろうとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート テキスト音読
	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について学ぶ ［教材］ ポスト真実時代のジャーナリズム	a： 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]：文章の構成や展開から筆者は「ポスト真実時代」に求められるジャーナリズムの役割とはどのようなものだと考えているか読み取る。 c：主体的に具体的実例を探し、複数の資料を調べて考察を深めている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート テキスト音読
	評論文の構成を学ぶ	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート テキスト音読

	［教材］ 「多様性」という言葉への違和感	b[読]:筆者の考えを理解し、指示語の内容を明らかにして、筆者の考えの筋道を理解している。 c:主体性をもって粘り強く根拠立てて学習課題に取り組んでいる。			

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数　・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間